

りんごも日焼け対策が重要－被覆資材で効果的に予防－

【概要】

1 研究背景と内容

近年の温暖化の影響で、岩手県のりんご栽培では日焼け果の発生が深刻な問題となりつつありますが、被覆資材（商品名：サンテ）の利用により、日焼け果の発生を軽減することができます（図1）。



図1 日焼け果の症状(左)とサンテの被覆状況(右)

2 りんご日焼け対策の方法と留意点

- (1) サンテを果実に被覆することで、日焼け果の発生要因とされる果面温度の上昇と果面への日射量が抑えられ、日焼け果の発生を軽減できます（図2、図3）。
- (2) なお、最高気温が32℃以上の日数に比例して日焼け果の発生が多くなる傾向がありますので、週間天気予報などを活用しながら対策を講じましょう。
- (3) ただし、収穫時までサンテを被覆しておく着色に影響を及ぼすので、収穫予定の数日前に取り外す作業が必須となります（表）。

【試験データ等】

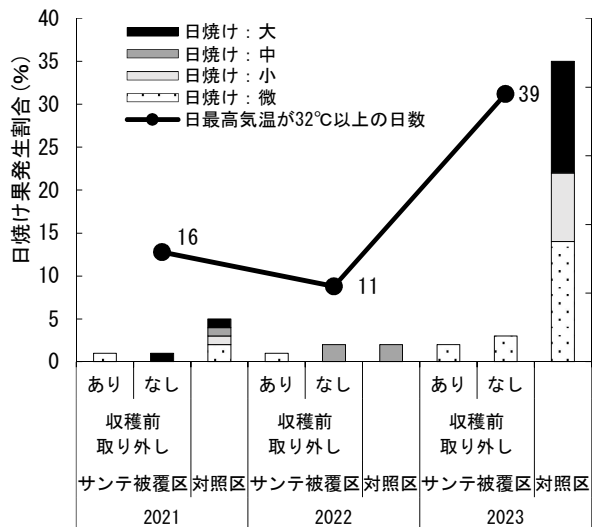


図2 サンテの被覆が日焼け果の発生に及ぼす影響

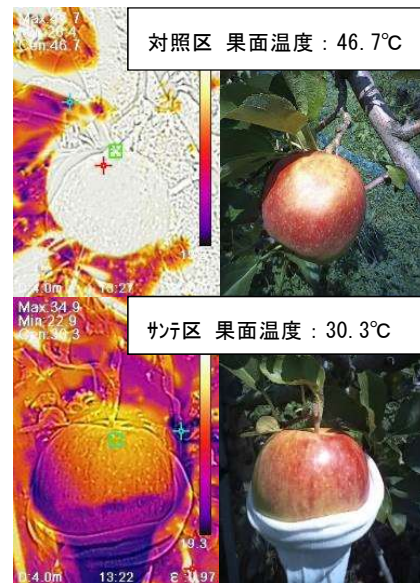


図3 サンテの被覆が果面温度に及ぼす影響

表 サンテの被覆が果皮色に及ぼす影響（2023年）

試験区	収穫前 取り外し	果皮色		
		CC値 ¹⁾ (指数)	濃色面積 ²⁾ (%)	着色面積 ³⁾ (%)
サンテ 被覆区	あり	5.8 a	43.3 a	81.3 a
	なし	5.2 b	21.7 b	64.9 b
対照区	—	5.9 a	37.3 a	83.0 a

【備考】

- 1) ふじ表面色用カラーチャートを使用:1(淡)~6(濃)
- 2) 果実の着色のうち、カラーチャート値の着色が占める割合
- 3) カラーチャート値の指数1以上の割合
- 4) 表中の異符号は、スチールドウスの検定またはカイ二乗検定により5%水準で有意差あり

【令和5年度成果】被覆資材利用によるりんごの日焼け果発生軽減対策（R5-指-19）